タイトル	著者名	内容紹介
嘘つきジェンガ	辻村 深月	詐欺をめぐる物語。幸せが欲しくて嘘にすがりついてしまう人間の哀しみが、心に迫る3篇。
ハヤブサ消防団	池井戸 潤	亡き父の故郷であるハヤブサ地区に移り住んだ太郎。消防団に勧誘され入団を決意したが、のどかな集落でひそかに進行していた事件の存在を知る。連続放火事件に隠された真実とは?
夜の道標	芦沢 央	殺人事件の被疑者の足取りはつかめていない。殺人犯を匿う女、捜査を続ける刑事、殺人犯から食糧をもらって生き延びる少年。それぞれに守りたいものが絡み合い、事態は思いもよらぬ展開を見せていく―。
汝、星のごとく	凪良 ゆう	風光明媚な瀬戸内の島に育った高校生の暁海(あきみ)と、島に転校してきた櫂(かい)。ともに心に孤独と欠落を抱えた二人は、惹かれ合い、すれ違い、そして成長していく。
空をこえて 七星のかなた	加納 朋子	「南の島へ行くぞ」というパパの言葉で石垣島へ旅することに。でもあまり気が進まなくて…。「南の十字に会いに行く」をはじめ、星を愛し、星に導かれた人々が紡ぐ７つのミステリー。
掌に眠る舞台	小川 洋子	『レ・ミゼラブル』全公演に通い始めた私が出会った、劇場に暮らす「失敗係」の彼女。演じること、観ること、観られること。ステージの此方と彼方で生まれる特別な関係性を描き出す極上の短編集。
その本は	ヨシタケシンスケ 又吉直樹	目が悪くなった本好きな王様が、２人の男を城に呼び「世界中をまわって『めずらしい本』の話を聞き、わしに教えてくれ」と言った。旅に出た二人の男は、たくさんの本の話を持ち帰り、夜ごと王様に語り出した。